

防災について話し合う

我が家の防災対策



災害はいつ襲ってくるかわかりません。被害を最小限に食い止めるためには、日頃の準備が大切です。定期的に家族そろって災害から身を守る方法について話し合っておきましょう。

家族一人ひとりの役割分担

日常の防災の役割と災害が起きたときの役割の両方を決める。

家屋の危険箇所チェック

家の内外をチェックして危険箇所を確認し合う。

家の中に安全な空間を確保する。

家具の安全な場所への配置換えや、家具の転倒や落下を防ぐ方法を考える。

非常持出品のチェックと入替え

必要な品が揃っているかチェック。新しいものと取り替えも忘れずに。

災害時の連絡方法や避難場所の確認

家族が離ればなれになったときの連絡方法や避難場所を確認する。できれば休日などを利用しみんなで見守りしておく。



防災ハザードマップの見方

①まず、自宅の位置を確認しましょう。

自宅のある場所や近隣地区の土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などを確認しましょう。



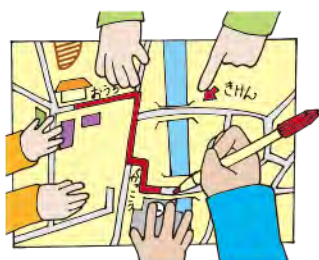
②次に、自宅付近の避難所を確認しましょう。

自宅に一番近い避難所を地図で確認しましょう。



③災害を避けて、避難経路を決めましょう。

土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などの危険な場所を避けて避難経路を設定しましょう。



④実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



突然やってくる

地震について



地震発生

まず、身の安全

- ・机の下に入る。
- ・クッション、雑誌などで頭を保護する。
- ・家具から離れる。
- ・ガラス面から離れる。

大きな揺れを感じたり緊急地震速報が流れたら、まず身を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。

普段から家の中の安全チェックをしましょう。住宅用火災報知器も設置しておきましょう。



2分
〜
5分

揺れがおさまった

台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。



5分
〜
10分

家族の身の安全を確認、確保

- ・家族の安全の確認、確保
- ・災害情報、避難情報の入手
- ・避難のための出口の確保
- ・ガラス片や転倒家具の注意



10分
〜
半日

隣近所の安否確認、助け合い

- ・倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人の救出
- ・火災発生時の消火活動
- ・けが人の救護



半日
〜
3日

2〜3日分は自分でしのご

地震発生後数日間は、水道、ガス、電気、電話等ライフラインをはじめ、食糧の供給も途絶えます。

2〜3日は自分でしのげるように、生活必需品(非常用品)を備えておきましょう。

【家族・関係者連絡先】

まずは、下の表に記入しましょう。

氏名	連絡先
	() —
	() —
	() —
	() —
	() —

正しい情報で直ぐ行動



風水害 (台風災害) について

注意報・警報・特別警報の種類と時期

種類	名称	発表の時期
特別警報	大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が想定されるとき。重大な災害が発生する可能性が高まっているとき。
大雨警報	記録的短時間大雨警報	1時間雨量 100 mmの猛烈な雨を観測したとき。
警戒情報	土砂災害警戒情報	雨量や過去の災害の記録などから土砂災害が発生する危険度が高まったとき。
警報	大雨警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
	洪水警報	河川の増水によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
注意報	大雨注意報	大雨によって災害が起こるおそれのあるとき。
	洪水注意報	河川の増水によって、災害が起こるおそれがあるとき。

雨の強さと降り方

1時間雨量

10～20mm
未満

やや強い雨



地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら注意が必要です。

20～30mm
未満

強い雨



土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川ならはん濫、また、がけ崩れの心配もあります。

30～50mm
未満

激しい雨



がけ崩れが起こりやすくなり危険地帯では避難の準備が必要です。道路規制が行われることがあります。

50～80mm
未満

非常に激しい雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなり、傘は全く役に立たなくなります。土石流が起こりやすくなり、多くの災害が発生する可能性があります。

80mm以上

猛烈な雨



息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

危険な場所を知っておく

土砂災害について



土砂災害の種類

斜面崩壊
(がけ崩れ)



土石流



地すべり



急な崖地や山の斜面が突然崩れ落ちる現象を、斜面崩壊(がけ崩れ)といい、国内で最も件数の多い土砂災害です。一瞬にして崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。このような被害を生じる恐れのある箇所を「急傾斜地崩壊危険箇所」といいます。

土石流とは、谷や斜面にたまった土・石・砂が大雨による水とともに、一気に谷を流れ下る現象です。スピードが速く破壊力も大きいため、大きな被害をもたらします。このような被害を生じる恐れのある渓流(渓谷や小川)を「土石流危険渓流」といいます。

粘土などの滑りやすい層の上にある斜面部が、しみ込んだ雨水等の影響などでゆっくり動きだす現象です。一度に広い範囲が動くため、大きな被害をもたらします。このような被害を生じる恐れのある箇所を「地すべり危険箇所」といいます。

土砂災害の前兆

こんな前ぶれに要注意



山鳴りがする。



雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。



川の流れが濁り、流木が混ざり始める。



斜面から水が噴き出す。



沢や井戸の水が濁る。



地面にひび割れができる。



小石がパラパラ落ちてくる。

避難のポイント



雨に注意しましょう

1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリの降雨量になったら注意が必要です。



逃げ方を覚えておきましょう

土石流は速度が速いため、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



避難場所を決めておきましょう

日頃から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。

情報の入手方法

※このメールサービスの利用料は無料です。

宮崎県防災・防犯情報メールサービス

このサービスを利用すると、県・市町村・警察・消防からの「防災・防犯情報」や、気象協会と連動した「自然災害情報」が配信されます。

特に自然災害情報は、注意報や警報の種類など、詳細な設定ができ、状況に応じて必要な情報が得られますので登録をお勧めします。

登録方法

- ①ご自宅のパソコンや携帯電話から登録用メールアドレス「bousai.miyazaki-pref@raidan2.ktaiwark.jp」に空メールを送信する。
- ②返信されてくるメールの内容に従って手続きを進める。



宮崎県防災・防犯情報
メールサービス
QRコード

えびの市「メール配信サービス」

市では、携帯端末やパソコン等の電子メールアドレス宛に、防災行政無線でお伝えしている内容や日曜祝日当番医等の情報をお送りする「メール配信サービス」を行っています。

<http://www-sa.smart-igov.jp/user/manage/ebinocity-mail>

提供コンテンツ

防災行政無線情報配信（所管 基地・防災対策課）
防災行政無線のえびの市からのお知らせの内容をメールで配信します。
（例）台風〇〇号の接近に伴い、市内全域に避難勧告が発令されました。それに伴い、〇〇避難所を開設しました。
※消防庁の津波警報、緊急地震速報、全国瞬時警戒システム（J-ALERT）の放送には対応していません。

※警報が出たら、テレビやラジオをつけてください。



えびの市
「メール配信サービス」
QRコード

災害対策の基本は情報収集！

最新の防災情報を収集して、風水害に備えましょう。

- 【気象庁】防災情報 ▶ <http://www.jma.go.jp/jp/yoho/>
- 【国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所】防災・災害情報
▶ http://www.qsr.mlit.jp/sendai/bousai_info/
- 【宮崎県】雨量・河川水位観測情報 ▶ <http://kasen.pref.miyazaki.jp/>
- 【宮崎県】土砂災害
▶ <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kurashi/bosai/bosai/dosha/index.html>

警察は
110番

えびの警察署
(0984)33-0110

火事・救急は
119番

えびの消防署
(0984)33-6119

えびの市
基地・防災対策課

電話：(0984)35-1119

水害・土砂災害の防災情報の伝え方

国の「避難勧告等に関するガイドライン」では、住民が「自らの命は自らが守る」意識を持ち、「自らの判断で避難行動をとる」との方針が示されています。

この方針に沿って自治体や気象庁などから発表される防災情報が、次の5段階の警戒レベルで提供されます。

危険度 ↑ 高い ↓ 低い	避難情報等			防災気象情報	
	警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等	警戒レベル相当情報例	発信者
	警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 <u>命を守るための最善の行動を!</u>	緊急安全確保 ※1	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等	市町村
～警戒レベル4までに必ず避難～					
	警戒レベル4	危険な場所から <u>全員避難</u> しましょう。	避難指示 ※2	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等	気象庁
	警戒レベル3	避難に時間のかかる <u>高齢者や障害のある人</u> は、危険な場所から避難しましょう。	高齢者等避難 ※3	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 大雨警報 洪水警報 等	
	警戒レベル2	避難に備え、避難場所や経路などを確認し、自らの <u>避難行動を確認</u> しましょう。	・大雨注意報 ・洪水注意報 ・高潮注意報	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。 (国土交通省、気象庁、都道府県が発表) 警報等が市町村発令の各レベルに「相当」とするという意味です。	
	警戒レベル1	最新の気象情報に注意し、災害に備えましょう。	早期注意情報		

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

「警戒レベル」3以上は、市町村が避難勧告などの避難情報発令時に用います。これに対し、「警戒レベル相当情報」は、国土交通省、気象庁、都道府県が警報などの防災気象情報をわかりやすく提供するため、「警戒レベル」との対応を整理し位置付けを行ったものです。市は、防災気象情報を含め、さまざまな情報を総合的に判断して避難情報を発令しますので、必ずしも、「警戒レベル相当情報」と同時に発令するわけではありません。

市民の皆さんは、「自らの命は自ら守る」意識を持って、防災気象情報も参考にしながら自ら適切な避難行動をとってください。

※【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう!

指定避難所一覧

飯野地区

避難所名	住 所	電話(施設代表)番号
飯野中学校体育館	原田190番地	33-0021
飯野小学校体育館	原田110番地	33-0008
旧大河平小学校体育館	大河平2410番地	33-0970
高野畜産管理センター	坂元1666番地	-
えびの市民体育館	原田3056番地	33-5332
飯野駅前地区体育館 ※	原田2176番地	33-5035
飯野地区コミュニティセンター ※	原田112番地11	33-0030
えびの市文化センター ※	大明司2146番地2	35-2268
高齢者交流プラザ	原田112番地1	33-0984

上江地区

避難所名	住 所	電話(施設代表)番号
旧上江中学校体育館	上江1735番地	33-0315
上江小中学校体育館	上江1580番地	33-0133
上江地区体育館 ※	上江1780番地1	33-4068

加久藤地区

避難所名	住 所	電話(施設代表)番号
加久藤中学校体育館	栗下1269番地1	35-1353
加久藤小学校体育館	栗下151番地	35-1351
尾八重野コミュニティセンター	東長江浦1652番地368	-
加久藤地区体育館	栗下1168番地13	35-2290
えびの市国際交流センター	榎田388番地1	35-3211
加久藤地区コミュニティセンター	栗下64番地1	35-1755

真幸地区

避難所名	住 所	電話(施設代表)番号
岡元小学校体育館	浦371番地	37-2240
真幸地区体育館	向江1188番地10	37-0004
真幸地区コミュニティセンター	向江798番地	37-3221
老人福祉センター	向江491番地4	37-1329
南岡松公民館 ※	岡松1412番地2	-
中浦自治公民館 ※	島内2057番地2	-

※は、指定緊急避難場所として災害発生時優先して開設されます。